



業種：老人福祉・介護事業

会社概要：平成28年設立
特別養護老人ホーム
ショートステイ
居宅支援事業所
小規模多機能型居宅介護

所在地：〒324-0046
栃木県大田原市加治屋
83-81

ホームページ
<http://kenshinkai.or.jp/>

会社のPR情報

「その日その日に笑顔の花を咲かせる」この合い言葉のもと、数名のスタッフから当法人はスタートとなりました。

現在、7つの事業所を展開し、思いやりの心で良質な介護を提供し、自立した日常生活の支援に努めています。

会社からのメッセージ

ーダイバーシティ&インクルージョンの推進ー

障害者雇用のきっかけは、特別支援学校の実習の受け入れから始まりました。

障害者の有無にかかわらず、個人の能力や適性に応じてともに活躍できる職場環境の整備に取り組んでいます。現在4人の障害者が活躍中です。

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たっての評価ポイント)

数的側面

雇用状況	実雇用率	5.26%
	実雇用率 (除外率適用前)	5.26%
	障害者不足数	0人
定着状況	過去3年間に採用した障害者の就職1年後定着率	75%

障害者雇用への取組の成果 (認定に当たっての評価ポイント)

質的側面

キャリア形成

- ・ 介護の有資格のある重度身体障害者を管理者としての登用実績あり。
同部門内の労務管理等に従事し、経営者と一体の立場で勤務。

障害者雇用への取組 (認定に当たっての評価ポイント)

体制づくり

組織面

- ・ 障害者を雇い入れている施設のみならず、すべての施設リーダー等を集めて、定期的な会議を利用し、障害者雇用の現状報告や推進のための会議を開催している。
- ・ 障害者生活相談員、障害者雇用推進者を法人内に配置しており、障害者を配置している各勤務場所に業務指導のみならず、職業生活全般における相談を定期的に行っている。

人材面

- ・ 法人内のすべての施設長に対して、精神・発達障害者について正しい知識と理解を持たせるために「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」(出前講座)を実施。
- ・ 特別支援学校見学会に参加し、新たに障害者を雇い入れる際のポイントや、職域拡大に向けた取組を実施。

仕事づくり

事業創出

- ・ 過去2年間、連続して経常利益が黒字

個々の障害者に相応しい職務をマッチング

- ・ はじめての知的障がい者雇用Aさんの事例
支援機関との連携により本人の障害の特性、適正、能力にあわせ、仕事の切り出しを行い、清掃業務に特化した業務内容を組み立て、見学⇒実習⇒採用。
ハローワーク、特別支援学校、ナカポツセンターとのケース会議で、ジョブコーチ支援の導入し、定着を図りました。

環境づくり

職務環境	<ul style="list-style-type: none">・従業員の健康管理、福利厚生の上昇を図っています。<ul style="list-style-type: none">①健康管理 ⇒ ナカポツセンターと連携を図り、相談や体調が悪化したときに適切な支援が受けられるようサポート体制を構築し、適宜面談を実施。②福利厚生 ⇒ 互助会制度にて、研修旅行、懇親会を定期的 に開催し、障害者と健常者の垣根なく余暇活動の充実を図っている。
募集・採用	<ul style="list-style-type: none">・障害者の募集採用に当たり、様々な取り組みを行っています。 障害者の職場実習受入れ 特別支援学校の生徒を受け入れています。 (うち、就労希望者に対しては複数回実施) 就労継続支援A型利用者の実習を受け入れています。
働き方	就業規則において全職員が利用できる時間単位の有給休暇制度を整備しており、通院や体調不良による遅刻等により丸1日休暇を取得する必要がないよう精神障害や知的障害のある職員が利用している。
キャリア形成	業務に関わる資格試験の受験料を法人が負担し、資格取得について積極的に推奨・支援を行っている。
その他の雇用管理	障害者の職場定着のため、特別支援学校、ナカポツセンター、行政機関と連携を密に図っています。

